

宮崎県母性衛生学会

会長 金子 政時（宮崎大学医学部看護学研究科教授）

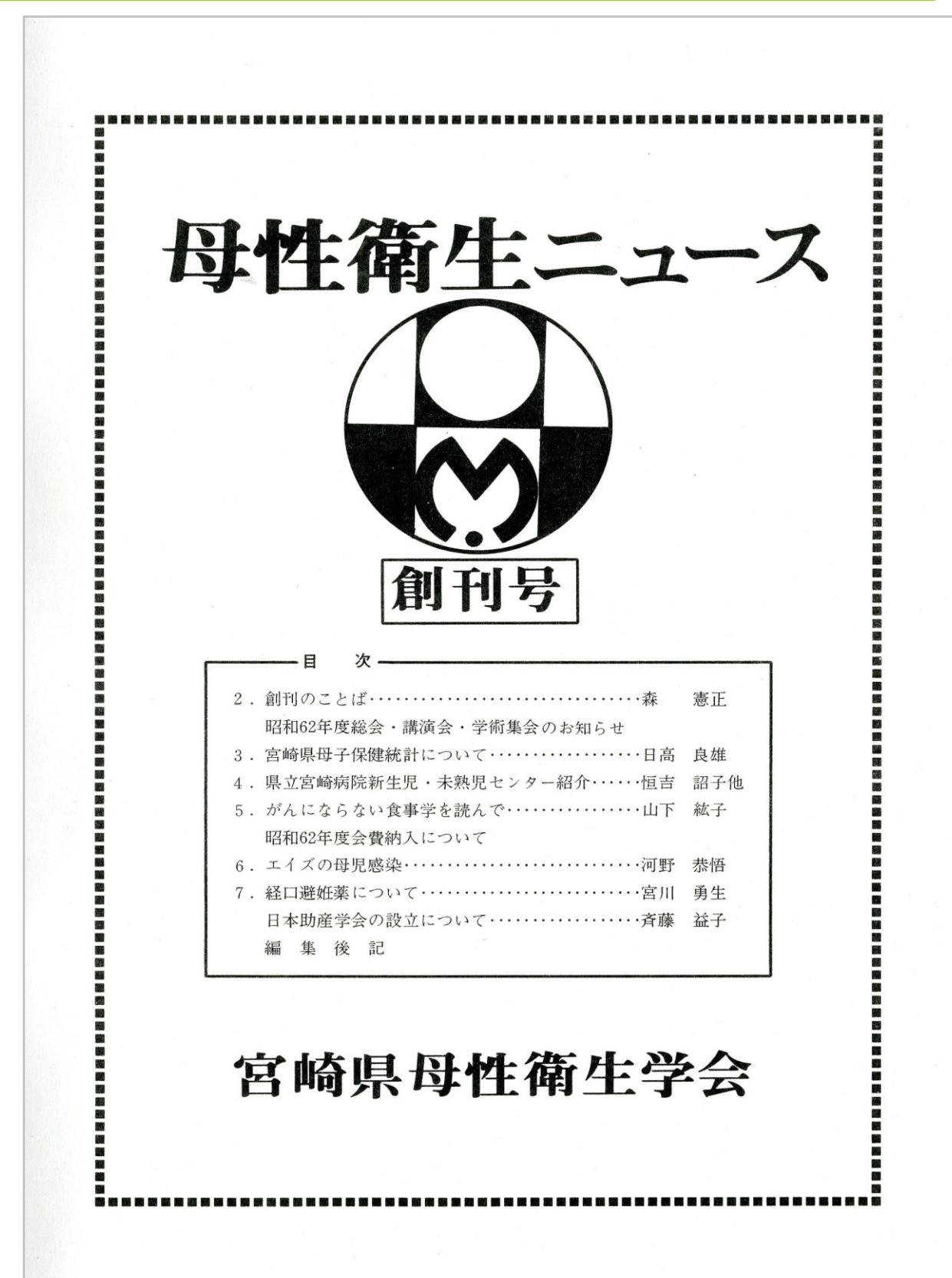
宮崎県母性衛生学会は、すべての女性の健康を守り、子育てに温かい社会づくりに貢献できるよう産婦人科医師、助産師、保健師、栄養士など幅広い分野の会員により活動しています。



学会員構成(2024年)

医師	91
助産師	81
保健師	11
看護師	58
栄養師	2
その他	4
計	247

機関紙発行



母性衛生ニュース(昭和62年創刊、年1回発行)

創刊のこぼれ
宮崎県母性衛生学会
会長 森 憲正

わたしたちはいま、あたらしい機関紙をつくろうとしています。その名前が、『母性衛生ニュース』とあります。

学術担当理事がいくつかの名前を考えて、その案を理事会にはかり、理事全員で意見を出しあって決めた名前です。機関誌の名の示すとおり、これは母性衛生に関するニュースをお互いに連絡しあう機関誌です。医学も、看護学も、助産学も、保健学も、栄養学も含めた総合的な母性衛生に関する機関誌です。宮崎に限らず、日本中の、また世界中の母性衛生に関連する諸科学の成果も積極的にとりいれていきたいと意気込んでいます。

この機関誌は、既存の領域の学問の枠にとらわれないで、自由な精神で疑問を投げかけたり、建設的な発言、討論をする場を提供するものでありたいと願っています。これは限られた一専門分野の専門家だけの独占物ではありません。母性衛生に関心をもつ、すべての会員に開放されています。

しかし、これは母性衛生の通俗化をはかろうとする試みではありません。反対に、さまざまな分野の会員に参加してもらうことによって、母性衛生に関して、各職域を通じて経験されること、民間で一般的に言いふされていること、通俗的な事柄をとりあげ、共通の話題として学問的にその内容を検討、充実させ、その水準を高度のものにしていくという試みも含まれております。

今日の社会にあって、母性衛生がどのような意味をもっているかを認識し、将来の社会にとって母性衛生はどのようにあるべきか、そのような事柄の探究を、いつもめざした機関誌でありたいと考えます。

わたしたちは『母性衛生ニュース』を通じて、古きをたずね、現状を分析して、母性衛生のあたらしい方向を生み出す努力をかさねていきたいのです。

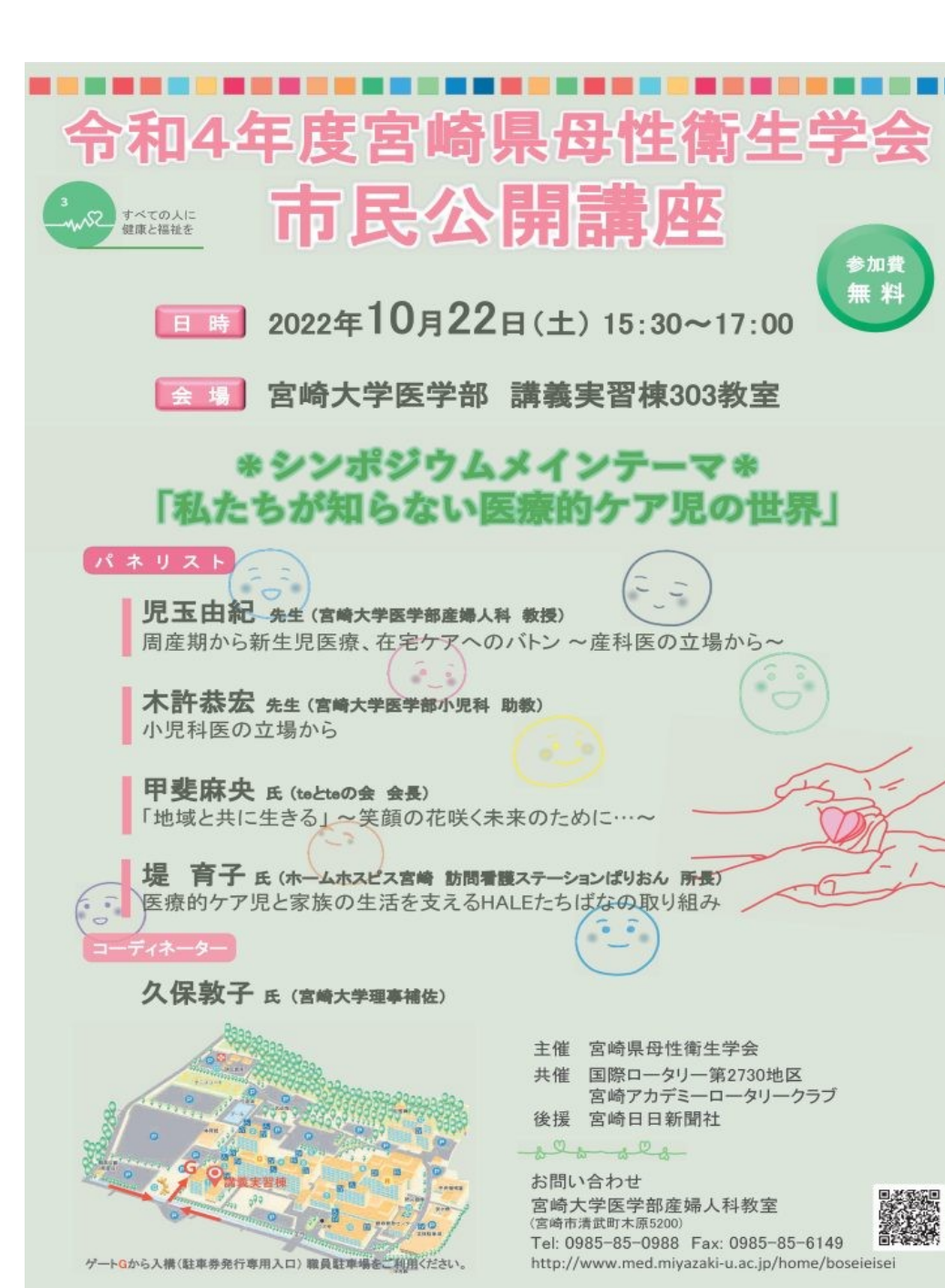
みなさんの積極的な参加を期待しています。当分は季刊くらいの間隔での刊行を予定していますが、みなさんの多くの投稿によって月刊、または週刊にまで発展することを夢んでいます。

新生児蘇生講習会



その年の学術集会の内容をまとめ、発行している。

過去の総会・学術集会一般公開講座



学会の特別講演を一般公開講座とし、市民に開催を案内し、参加を呼びかけている。



(学会事務局) 〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 宮崎大学医学部産婦人科学教室
TEL 0985-85-0988 FAX 0985-85-6149
幹事: 山下理絵 児玉由紀